

電 力 情 報

NO. 68

平成27年2月24日

東 北 電 力 (株)

1 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

1月分の販売電力量は、78億8,900万kWh、対前年比101.8%の実績となりました。東日本大震災からの復興の動きが続いていることに加え、前年に比べ12月の気温が低めに推移したことによる暖房需要の増加などから、2カ月連続で前年実績を上回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災からの復興の動きが続いていることに加え、前年に比べ12月の気温が低めに推移したことによる暖房需要の増加などから、対前年比102.1%の実績となり、2カ月連続で前年実績を上回りました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比103.2%の実績となりました。

特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、需要回復の動きが続いていることに加え、前年に比べ12月の気温が低めに推移したことによる暖房需要の増加などから、対前年比102.1%の実績となり、2カ月連続で前年実績を上回りました。

特定規模需要の合計では、対前年比100.7%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、復興需要や一部業種で生産回復の動きが続いているものの、一部の生産減や自家発電稼働増加の影響などから、対前年比99.3%の実績となりました。

2. 供給力について（表 - 2 参照）

1月の発受電電力量の合計は、82億8,300万kWh、対前年比98.7%の実績となり、2カ月ぶりに前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率103.3%の豊水となり、前年出水率を7.1%上回ったことなどから、発電量は前年を9,900万kWh上回る5億9,800万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を4億8,000万kWh下回る58億700万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の蒸気量の増加などから、発電量は前年を500万kWh上回る8,200万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を2億6,700万kWh上回る25億500万kWhとなりました。

以上